「山梨大学看護学会誌」投稿規定

Yamanashi Nursing Journal

1　投稿資格

原則として本学会員とする。

2　投稿の種類

投稿論文は，総説，原著，実践報告，資料，その他で原稿表紙に明記する。

それぞれの内容は以下のとおりである。

【総説】

看護学及び近接領域に関わる特定のテーマについて，多面的に内外の知見を集め，また文献等をレビューして，当該テーマについて歴史的背景，重要性、進捗状況，将来の方向性などを総合的に学問的状況を概説し，考察したもの。

【原著】

研究が独創的で，新しい知見や理解が論理的になされており，学問的に意義が明らかなもの。

【実践報告】

看護の視点で改善，あるいは開発したシステム，援助技術，物品等の実用的価値のある事例を記述した報告及び新しいもしくは有用な援助技術の適用例を記述した報告。

【資料】

内容が原著論文には及ばないが，研究結果の意義があり，看護学及び近接領域の発展に寄与すると認められるもの。

3　執筆規定

1）　原稿の形式

表紙，和文要旨，本文，引用文献，表(説明付き)，図(写真)の説明，図の順とし，コピー2部と共に提出する。

2）　用紙と長さ

A4版ワープロ横書き，1行40字1ページ30行を基準とする。

長さは原著，実践報告，資料では本文7枚以内，図表5枚以内，総説は本文10枚以内，図表10枚以内を基準とする。

フロッピーディスクを添えて提出する。

3）　表紙の掲載順序

投稿の種類，和文題名，著者名，所属名，英文題名，ローマ字の著者名，英文所属名，Key Words(5個以内とし，日本語と英語を並記する)，20字以内のランニングタイトル，本文総枚数，表，図の枚数，編集部への希望事項，別刷希望部数(30部以上10部単位)を記載する。共著者全員の同意を得ているものとする。

4）　要旨

和文要旨は400字以内とする。

5）　本文の形式

原著の項目は，緒言(はじめに)，方法，結果，考察の順とする。各項目の細分は，Ⅰ．Ⅱ．…，1．2．…，1)2)…，図表の説明は和文とする。表には原則として縦線を入れない。

6）　書体と用語

現代かなづかいのひらがな，常用漢字を用い，十分に推敲した原稿とする。句読点(句点は「。」，読点「，」とする)，括弧は正確につけ，1字分としてあける。外来語，学名及び人名は原語またはカタカナを用いる。

7）　引用文献

引用番号は本文中に現れた順とし，引用箇所右肩に片括弧で記載する。引用文献の記載方法は，引用番号順に下記の例に従ってまとめる。著者が多い場合は3番目以降の著者名を省略する。

＜原著論文＞

1）　著者名(発刊西暦年)タイトル．雑誌名，巻(号)：ページ．

＜単行本＞

1）　著者名(発刊西暦年)タイトル．書名(編集者名)．出版社，所在地，ページ．

4　倫理的配慮

①　動物実験を行った場合には，適切に行われたことを示すために，例えば「本実験は山梨大学動物実験指針に沿って行われた」旨，本文中に記載する。

②　臨床の論文で倫理上の問題を含むものでは，大学などの倫理委員会の承認を得て適切に行われなければ，受理しない。

5　原稿の依頼，採否，掲載順序

編集委員会が決定する。論文は2名以上の編集委員または編集協力者により査読される。

6　校正

初校を著者の責任において行う。原則として原文の変更追加は認めない。

7　費用

掲載料は請求しない。別冊は30部まで無料。それ以上になる場合は，実費で著者に請求する。

8　著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は，本学会に帰属する。

9　電子化

本誌に掲載された論文，記事等の一部は，インターネット上に公開する。

10　原稿の送り先

山梨大学看護学会誌編集委員会

山梨大学看護学会誌編集委員会
委員長　飯島純夫（地域・老人看護学講座）
委　員　金丸明美（看護部）
佐藤みつ子（人間科学・基礎看護学講座）
高田谷久美子（人間科学・基礎看護学講座）
伊達久美子（臨床看護学講座）
手塚とみ江（看護部）
（50 音順）